

マルバカモメヅル

Cynanchum nipponicum Matsumura
var. *ratundifolium* (Honda) Murata

ガガイモ科
Asclepiadaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (九重火山群)

分布域 九州(熊本・大分)

生育環境 低山地の湿地及び周辺地。

現 状 「九重火山群」で採集された標本はあるが、その後、生育状態は把握されていない。

スズサイコ

Cynanchum paniculatum
(Bunge) Kitagawa

ガガイモ科
Asclepiadaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 II

選定理由 県内の生育範囲は広く、個体数もかなりみられる。草原に生育するため、土地開発や野焼きの停止などの環境変化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地、中津・宇佐低地、姫島・国東海岸、日田低地・丘陵地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、別府湾沿岸域、大分川・大野川丘陵地

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 朝鮮半島 中国・中国(東北部) ,アムール ,ウスリー ,ダフリア

生育環境 低地から低山地の草原。

現 状 人工牧野への改変や野焼きの中止により、消滅したり、生育状態が衰退した生育地がある。

ノアサガオ

Ipomoea acuminata (Vahl)
Roem. et Schult.

ヒルガオ科
Convolvulaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由

「豊後水道域」の特定の島の林縁、空き地、段々畑の縁などに生育し、しばしば群生する。畑などが放置され、植生遷移の進行による影響で消滅する生育地もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(伊豆七島 紀伊半島) 四国 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 東南アジア ,オーストラリア

生育環境 海岸の林縁や空き地。

現 状 ここ10年、生育地の範囲はほとんど変化はないが、生育地周辺の樹木の繁茂で、生育状態の悪化した所がみられる。